

働き女子のごほうびセミナー

「働くということ」

5. 働き続けるために

千葉： そろそろ終わりに近づいていますが、もう一つだけ。この職場で、今は男性だから女性だからということで仕事の差というのはきつくないと思うんですけども、どうしても女性の場合は結婚していると、育児など家庭内のいろいろなお世話とか、担わざるを得ないという部分があると思うんですが、そういったことに関してこの職場ではいかがですか。



庄子： そうですね。出産、育児、介護と、それぞれに有給休暇があって、わりと恵まれているので、結婚してもお勤めを続ける人も多いです。結婚、出産、育児、介護って、人生の節目みたいなところですよ。社会全体をみるとその節目には退職される女性の方もいらっしゃると思うんです。退職をされて復職される方もいるし、復職しても同期と比べてキャリアアップが後れてしまうとか、復職したセクションが自分の希望とは違ってしまって、やりがいに疑問を持つとか、悩まれる方もいると思うんです。

そういう方々にぜひ言いたいんですが、女性は、出産などで、仕事をする上での時間軸が男性と違っていいと思うんです。すべて男性と一緒にという方もいらっしゃるけど、そもそも時間軸が違うんだからということ一度受け入れて、あとは、出産とか育児でちょっとキャリアアップが後れても、競争のルールに乗るということにこだわらず、勇気を出して一回降りて、リセットして緩やかに進める働き方という

のもありだと思っんですよね。何十年という長い時間働くわけですから、いろんな節目があっって当然だし、自分自身の病気なんかもあるかもしれない。いろんなことが起こるので、それを自分の中で受け入れながら、他人と比べない働き方というのが必要じゃないかなと思っっています。

もう一つ、長く働き続けるコツとして、人に助けてもらっ勇氣を持つことですね。すべて自分でやってしまっって、なんとかしなきゃっって思っ悩んじやう人もいるんですけど、できるだけ人に助けてもらっ。一方で自分が助けられるときはどんどん同僚とか後輩とかを助けていくことが必要かなというふうに変更



思っます。結局、働き方や目標は人それぞれですし、それぞれに価値があるので、あんまり競争しないほうがいいんじゃないかなというの思っます。

千葉：モデルは一つではないと。

庄子：そういうことですね。

千葉：どうもありがとうございました。とても勉強になりました。また、知らないこともたくさん聞かせていただきました。コロナ禍でご苦勞も多いなか、貴重なお時間をいただき重ね重ね御礼を申し上げます。よかったです。

庄子：いえいえ、そんなことないですけど。ありがとうございました。